

Festina lente

令和6年度 八日市高等学校
第1学年 学年通信 No.6
(2024. 8. 30)
発行責任者：元持重子

2 学期が始まります

高校生になって初めての夏休みはhowでしたか。40日もの長い期間、有意義に過ごせましたか。いよいよ2学期のスタートです。2学期は1年間で一番長く、中心となる学期です。部活動に勉強にと、いろいろなことにじっくりと取り組める期間です。それゆえに『どれだけ真剣に取り組めたか』が結果として出てくる学期でもあります。頑張ればきっと、自分の将来につながる学びが得られることでしょう。自分にとって意義深い、充実の秋にしていきたいと思います。

生活のリズムを学校モードに

夏休み中、生活のリズムは維持できましたか？ 今日から学校モードに切り替えなければいけません。朝夕少しずつ涼しくなっているとはいえ、まだまだ残暑が続きます。バテてしまうことのないように、規則正しい生活に切り替えましょう。しっかりと朝起きて朝食を摂る、服装を整えて遅刻せずに登校する、欠席者なく全員そろって朝のSHRが迎えられる、そんな“あたりまえの学校生活”が、あたりまえにスタートできるようにしていきたいと思います。

◎明日から通常の時間割になります。来週から火・木の小テストも再開ですよ。しっかり準備をして臨んでください。

7月に受けた模試を返却

模試の採点結果が返ってきました。もう少しがんばらなければいけないというのが本音です。しかし、点数や評価に一喜一憂しているだけでは意味がありません。スマホを使って自分の評価を見たり、志望校を探したりすることができます。また、一人ひとりにあわせた復習問題が準備されており、それに取り組むことでパワーアップできるようになっています。必ず取り組んでおいてください。自分にとって必要な勉強を、必要な量、全力でやりきることでしか成果は望めません。今一度、自分の学習内容や姿勢を見つめ直してください。授業を受けているだけ、指示された問題集をやっているだけといった、ただ言われたことをやっているだけの学習になっていませんか？

以下に残念な状態・行動を挙げます。一つでも当てはまれば危険信号です。早急に見直してください。

- 問題を解いている途中で寝てしまう。(緊張感がなさすぎです。試験時間いっぱい、全力で問題を解き続ける体力も必要です。普段から鍛えましょう。)
- 計算ミスがなければX割あったと言う。(計算を合わせられないのが今の実力。対策を考え実行すべきです。)
- 知らない単語や表現があっても辞書で調べない。(人任せではのびません。)
- 解答を写すだけで、なぜその答えになるのか考えない。(次、同じ問題や類似問題に出会ったときにどうすれば解けるか自分の中で作戦を練ることが大切。同じ間違いは二度としない。)
- 模試の復習はしない。(模試は各予備校等がプライドをかけて作っている良問です。復習は最優先にすべきです。)
- 解答解説を読むだけで、解き直しをしない。「分かったつもり」と「できる」は違います。)

◎ 9月行事予定◎



2(月) 始業式・大掃除・③～⑥通常授業	17(火) ⑦限：総合
6(金) 校外学習：神戸	19(木) ⑦限：生徒会役員立会演説会・投票
10(火) ⑦限：総合	23(月) 振替休日
12(木) ⑦限：消費生活啓発講座	24(火) ⑦限：総合
13(金) 看護の魅力配達事業出前講座	25(水) 各種委員会
	26(木) ⑦限：薬物乱用防止講座

◎進研模試総合学力テスト「個人成績票」を見る時の注意◎

STEP1 校内や県内ではなく、全国の成績を見よう。

偏差値やGTZについての説明は「振り返りBOOK」にある。

国公立大学への進学を目指す人は3教科総合のGTZ：A3以上を目指そう。

STEP2 3教科のバランスを見る。☑がついている教科から復習しよう。

今回の模試は、高校の学習のスタート地点。大切なのは、これから如何に学力を伸ばしていくかということ。結果が悪いと落ち込んでいてもしょうがない。これからどんどん学力をつけていくために何をすればよいか、具体的な対策を考えよう。教科担当に相談しよう。

先ずは、授業に集中することから始めよう。

STEP3 ここを見るのが一番大事。

各教科どの分野ができて、どの分野ができていないのか、(さらに細かく、どの問題ができて、どの問題ができていないのか)、また、なぜできなかったのかを分析する必要がある。今までの学習の仕方でよいのかどうか分からなければ教科担当の先生や担任の先生と相談しよう。

STEP4 デジタルサービスの取り組み状況と今後の目標

進研模試デジタルサービスによる復習は終わりましたか。夏休み中に復習した人はほとんどいませんでした。模試・自己採点・復習・次回テストの目標点設定はセットです。

次回 11/10 実施予定の第2回総合学力テストの目標点を入力しておこう。「進研模試合格ライン 2024」を参考にしよう。目指す大学に合格した先輩たちの1、2年の模試における平均得点と平均偏差値が載っています。



オリンピック

今年の夏はオリンピック・パラリンピックに夢中になった人も多かったのではないのでしょうか。私の中で一番心に残ったシーンは、パリ五輪序盤、2大会連続の金メダルが期待される中で、まさかの2回戦敗退に号泣した阿部詩選手の姿でした。負けたという事実と、涙する姿に、日本中が衝撃を受けたはず。多くの期待と責任を背負って出場したにもかかわらず負けた…その反動が号泣につながったのではないかと思います。背負っているものが大きすぎて、彼女の気持ちは私には想像もできませんが、それくらい金メダルに対して強い思いを持っていたということなのでしょう。TV越しではありましたが、張り詰めたような気迫といってもいい程の強い思いを感じました。はたして君たちは、これほどの強い思い、ショックで立ち上がれなくなるほどの強い思いを抱いたことがあるのでしょうか。この結果をもう一度パワーに変えるのは大変なことかもしれませんが、この悔しさをバネに、さらに強くなってもらいたと思います。強い思い=パワーでもあります。君たちにもパワーにつながるような強い思い、“明確な目標”を持ってほしい、そう思っています。これが、将来に向けての第1歩になるはずですから。

そしてもう一つ。あの場面で起きた“うたコール”についてです。観客たちが彼女のファーストネームを呼んでいました。もちろん日本人の観客だけでなく、会場全体がです。選手のファーストネームを会場全体で呼ぶという場面はなかなかないのではないのでしょうか。TV越しに、はらはらしながら観戦していた私も、少しほっとさせられました。あの場にいた観客たちみんなが、彼女の姿から何かを受け取ったからこそこの“うたコール”だったのではないかと思います。